

東日本大震災による被害等に対する支援要望書

3月11日の東日本大震災は、東北、関東地方に未曾有の被害をもたらしました。本県においても、死者4名をはじめ、住宅、ライフラインの被害など、県民の生活に甚大な影響を及ぼしております。

また、放射能拡散被害、風評被害及び人的影響など、住民の不安を募り、避難生活を余儀なくされている状況にあります。

日光市においても、これらの東日本大震災により死傷者、民家の瓦や塀などの損壊が多数見受けられ、放射能拡散による風評被害も地域の経済活動を停滞させております。

さらに、本県産の和牛や稲わらから暫定基準値を超える放射性セシウムが検出され、教育施設においても土壌が汚染されるなど、住民の不安は募るばかりであります。

そのような状況の中、日光市では、東日本大震災の被害の復旧・復興のために、市当局と議会が一体となり、市民生活の安定化と経済の回復を目的として、様々な「がんばろう日光」推進プロジェクトを実施しております。

県におかれましては、この未曾有の国難に対し、一日も早い復旧・復興に向け、日々、努力しておられることとは思いますが、以下の点について、特段の措置を講じていただきますよう要望するものであります。

記

1. 日光市は、放射線量が県内の他市町に比べ高い状況にあることから、食品及びその環境に対して、風評被害などが発生することのないよう放射性物質の検査体制の整備に全力で取り組んでいただきますよう要望いたします。
2. 栃木県を代表する日光市の観光振興及び地域経済活性化のため、今後における、日光宇都宮道路の通行料金の無料化を中心に、減額制度を要望いたします。
3. 震災に係る新規の資金融資制度の創設など、今回の震災により影響を受けた中小零細企業に資金が回る方策を講ずるよう要望いたします。
4. 放射能汚染による損害補償が確実に行われるよう、国に求めていくことを要望いたします。

平成23年8月17日

栃木県知事 福 田 富 一 様
栃木県議会議長 神 谷 幸 伸 様

日光市議会
議長 山 越 梯 一